

# 議会だより



### 「嶋田的浦」句碑

昭和56年、俳句を通じて的矢を広く世間に紹介した的浦のため、有志によって建立されたもの。太平洋を遥かに見渡す「みんなの森」（旧の矢中学校跡地）に建ち、「海うらら水平線は汽船を牽く」の一句が刻まれている。

的浦は、兄青峰の陰となった黒子的存在であり表面には出なかったが、晩年は日本赤十字社山田病院の事務長に迎えられ、職員や患者の俳句指導にもあたり、多くの俳人を育てた。

（出典：郷土の俳人 青峰と的浦）

志摩の句碑・歌碑④

主な内容

平成25年度決算を認定	2
決算の特徴を監査委員が分析	4
各常任委員会の審査結果	7
一般質問「市政のここを聞く！」	10
こんにちは志摩びとさん	22

# 大型公共施設建設により の大型決算に

合併後  
最大!!

一般会計は299億1808万円と市政発足後最大の歳出決算となりました。この要因としては、ごみ処理施設、火葬場、学校給食センター等大型公共施設の建設等が集中したためです。

これに対して歳入決算は、歳出決算を7億7261万円上回る、306億9069万円となりました。<sup>\*</sup>経常収支比率は前年度より1.0%減少し、89.2%となりました。

また、5つの特別会計を合わせて、150億3450万円、2つの企業会計合わせて、41億6011万円となり、全会計では491億1269万円

## 決算の特徴

円の歳出決算となりました。

### 用語解説

※経常収支比率＝義務的経常経費（人件費や扶助費、公債費など）に一般財源収入がどの程度充当されているかを示すもの。財政の弾力性を判断するために用いられ、低い率ほど望ましい。

市民1人あたり  
**約54万円**  
特別会計含めると  
約82万円使いました。  
うち借金返済には約6万円  
H26.3.31現在  
人口54,595人

## 平成25年度各会計の決算額

会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		306億9069万円	299億1808万円
特別会計	国民健康保険	80億8021万円	75億4918万円
	後期高齢者医療	11億7654万円	11億6657万円
	介護保険	59億7607万円	58億5620万円
	下水道事業	4億8553万円	4億5250万円
	住宅新築資金等貸付事業	1321万円	1003万円
小計		157億3156万円	150億3450万円
企業会計	水道事業会計	18億1889万円	26億2298万円
	収益的	17億8270万円	16億2661万円
	資本的	3619万円	9億9637万円
	国民健康保険病院事業会計	14億2804万円	15億3713万円
	収益的	13億243万円	14億1153万円
	資本的	1億2562万円	1億2561万円
小計		32億4693万円	41億6011万円
総計		496億6917万円	491億1269万円

※数値は端数調整してあるため、合計が相違する場合があります。

# 9月議会 第3回 定例会

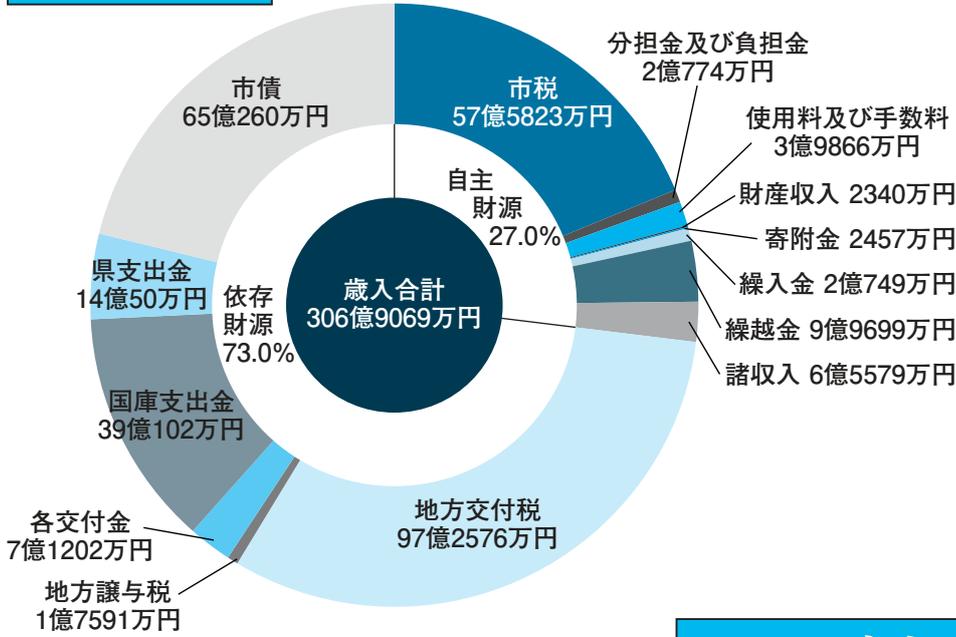
9月定例会を9月2日から30日までの会期で開催しました。子ども子育て支援新制度に関する条例制定や平成26年度補正予算など14件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、平成25年度の一般会計、特別会計（5会計）、企業会計（2会計）の決算は、予算・決算特別委員会を設置し、審査しました。慎重審議の結果、すべての会計の決算を認定しました。

# 平成25年度 一般会計等 決算を認定

# ごみ処理施設・火葬場・学校給食センター等 一般会計 歳出総額が約300億円

## 一般会計 歳入

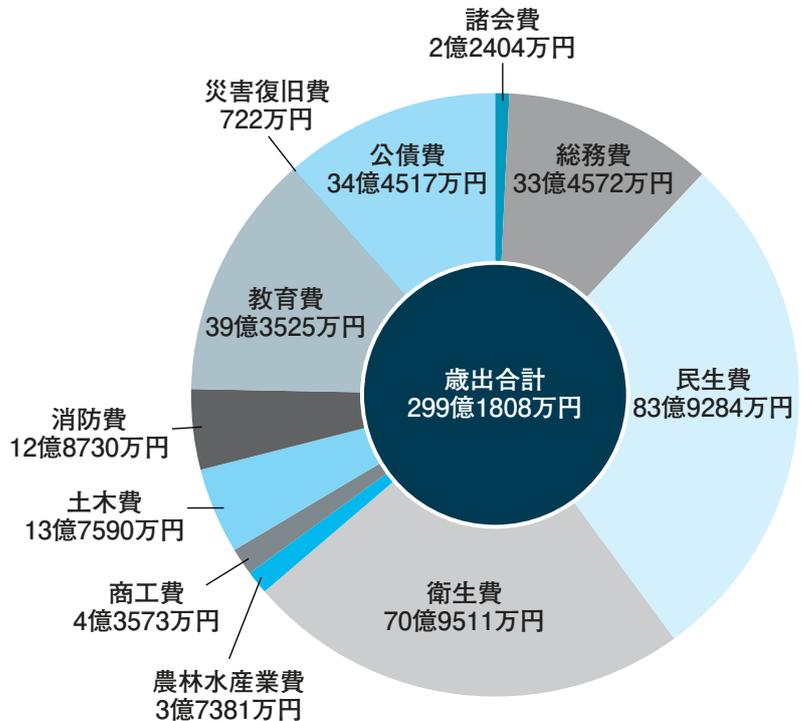
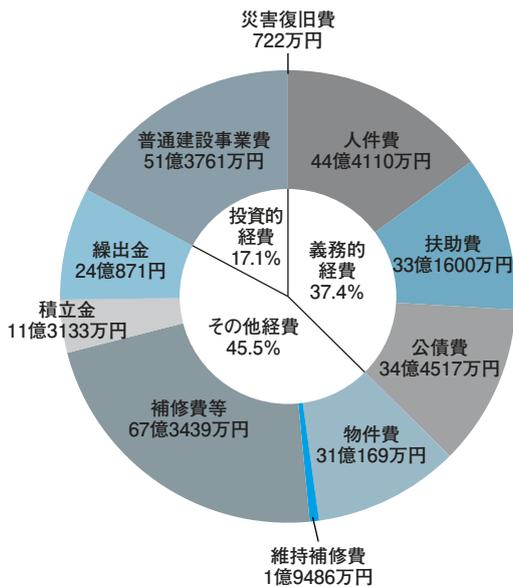


○市税内訳○

市民税	20億7563万円
固定資産税	29億2802万円
軽自動車税	1億4516万円
市たばこ税	4億4114万円
特別土地保有税	82万円
入湯税	1億6747万円

## 一般会計 歳出(目的別)

## 歳出(性質別)



(歳入)

(歳出)

**306億9069万円 - 299億1808万円 = 7億7261万円**

●残ったお金は26年度に繰り越しました●

# 決算の特徴を監査委員が分析

## 決算についての監査意見



- ①歳出総額が過去最大の約300億円**  
**②地方債の発行額が約65億円で過去最大**  
**③補助費等が約67億円で通常年の約2倍**  
**④自主財源比率が4.6ポイント低下(前年度比)し27.0%となった**  
 以上の要因は共通しており、鳥羽志勢広域連合のごみ処理場の建設や火葬場、学校給食センターの建設等の大型公共事業が今年度に集中したことによる。

- ①実質単年度収支が黒字**  
 2年ぶりに約7億6千万円の黒字。  
**②財政調整基金と減債基金が10億円増加(前年度比)**  
 「地域の元気臨時交付金」として国から約15億円が交付されたこと等により、財政調整基金(32億円)と減債基金(12億円)合わせて44億円となり、前年度比10億円増となった。  
**③市税の徴収率の上昇**  
 今年度は83.0%で、前年度比15ポイント上昇。平成17年度と比較すると、10.5ポイント上昇し、金額に換算すると約8億円の増収となる。  
**④健全化判断比率<sup>\*1</sup>が良くなった**  
 実質公債費比率<sup>\*2</sup>は10.6%(前年度比)0.6ポイント減少。将来負担比率<sup>\*3</sup>は72.8%(前年度比)6.0ポイント減少。

- 平成25年6月策定の「志摩市財政収支見通し」によると、市税の減収と普通交付税の減額が確実。深刻に受け止め早急にこれに対する対策を考えなければならない。
- 平成26年9月策定の「第2次財政健全化アクションプログラム」の実行は、各部署任せではなく、実行責任者を定め、確実に実行していく体制を作ることが必要。
- 市民と職員そして議会が強い危機感を持ち、「我がまちを絶対に破綻させない」という強い意志の基に一丸となって取り組むことが必要。



### 企業会計の特徴

#### 水道事業会計

平成23年度から三重県から資産譲渡を受け、浄水製造から給水まで一元化された結果、今年度も約1億3千万円の純利益、営業収益純利益率も7.7%となり、経営効率が大きく改善された。

将来の給水収益の減少対策や震災等の災害対策は欠かすことができないため、将来に備え適度な内部留保資金の確保は進めなければならない。しかし、水道事業は利益を上げることだけが目的ではないため、老朽化した設備の維持管理等を積極的に行う必要がある。今後、安全で良質な水の確保や災害時にも安定的に給水できる体制を作るために、新しい経営環境を前提とした事業計画を作成し実行することが急務である。

#### 病院事業会計

繰入金を除く当年度純利益は、マイナス約5.5億円である。今年度も一般会計から5億円を繰り入れており、多額の繰り入れを行わない限り病院経営の維持が難しい状況が続いている。

今年度の医業収益は前年度に比べ約1億4千万円減少したが、医業収益純利益率は、前年度に比べ2.72ポイント上昇し、マイナス12.9%となった。これは、医師の退職等による人件費の大幅な減少等の医療サービスの提供体制を十分に整えることができなかったため、決して経営効率が高まったということではない。したがって、医業損失は減少したものの、経営全体を評価するならば、前年度より悪化したといえる。以前から、地域医療の在

り方について、病院経営の再編やネットワーク化及び経営形態の見直しも視野に入れつつ、早急に一定の結論を出すとともに積極的な改革に取り組むことが不可欠であると提言してきたが、今般、管理者が平成27年度から指定管理者制度導入の方針を打ち出したことは評価する。今後の地域医療についての総合的な観点からの取り組みに期待する。

#### 用語解説

※<sup>1</sup>健全化判断比率＝実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの財政指標の総称。財政の早期健全化や再生の必要性を判断するもの。  
 ※<sup>2</sup>実質公債費比率＝借金返済の割合。比率が高いほど負担が重い。  
 ※<sup>3</sup>将来負担比率＝将来返済する借金の割合。比率が高いほど、将来的に財政を圧迫する可能性が高い。

# 平成26年度

## 一般会計補正予算を可決

補正予算は、一般会計、特別会計4会計（国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計）について審議し、原案どおり可決しました。

その結果、平成26年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ4億123万円を追加し、予算総額250億5814万円となりました。

### 主な一般会計補正予算の内容

- ◆財産管理費・・・・・・・・・・217万円  
多徳島の環境整備を行うための経費
- ◆清掃総務費・・・・・・・・・・877万円  
指定ゴミ袋を追加購入するための経費
- ◆消防施設整備事業費・・・・・・・・1175万円  
新たに甲賀地区消防詰所として高台にある用地および建物を購入するための経費等
- ◆防災基盤整備事業費・・・・・・・・1214万円  
新たに甲賀地区防災倉庫として高台にある用地および建物を購入するための経費
- ◆小学校耐震化・大規模改造事業費・・353万円  
布施田小学校屋内運動場耐震化事業に係る経費
- ◆阿児アリーナ施設費・・・・・・・・31万円  
阿児アリーナのソファを修繕するための経費

### 主な質疑

#### 寄付金で

#### 多徳島整備

**問** 財政管理費の環境美化事業とは。また、その財源は。

**答** ふるさと応援寄付金の200万円で、多徳島の整備を行う。

**問** 整備計画は。

**答** 現状はかなり荒廃しているため、財政課を主体として現在雇用している臨時職員で整地を行う。これは、台船の使用料として予算化した。



荒廃した多徳島

今後は、キャンプ場やカヌー大会等での立ち寄りとして、また、志摩里海学舎構想の推進も見据えて整地をしていく。

#### 布施田小学校 体育館を改修



改修前の布施田小学校体育館

**問** 社会体育施設の整備計画は。

**答** 現在、市としての全体計画はない。

**問** 整備計画がないのに、後から利用するだろうという予想で予算化するということか。

**答** 当然、在校する小学生の安心・安全な体育

館の利用が主目的である。社会体育施設については、閉校後の利用ということである。

#### 阿児アリーナ ソファを修繕

**問** 修繕内容は。

**答** 阿児アリーナ・ロビー1の来場者用対面一人掛けのソファに張つてある布が経年劣化により、汚れ、破れており、来場者からも指摘があるため張り替える。ソファ32本の背もたれと座面を修繕するものである。



修繕前の阿児アリーナ ソファ

## 請願を採択しました

- 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書
- 「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める請願書
- 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める請願書
- 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書
  - <請願者> 志摩市PTA連合会 会長 大西 洋一
  - 志摩市小学校校長会 会長 稲田 幸弘
  - 志摩市中学校校長会 会長 森本 泰匡
  - 三重県教職員組合志摩支部 支部長 山岡 幸雄
- 「手話言語法」(仮称) 制定を求める意見書の提出を求める請願書
  - <請願者> 一般社団法人三重県聴覚障害者協会 会長 深川 誠子

## 国等へ意見書を提出しました

- 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書
- 「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める意見書
- 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書
- 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書
- 「手話言語法」(仮称) 制定を求める意見書

以上の意見書を内閣総理大臣はじめ関係機関に提出しました。

## 請願・意見書の審議結果一覧表

	議案名	議決結果	
		賛成	反対
請願第4号	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書	賛成多数 18	1
請願第5号	「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める請願書	賛成多数 16	3
請願第6号	「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める請願書	賛成多数 17	2
請願第7号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書	賛成多数 15	4
請願第8号	「手話言語法」(仮称) 制定を求める意見書の提出を求める請願書	賛成多数 17	2
発議第3号	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書(案)	賛成多数 17	2
発議第4号	「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める意見書(案)	賛成多数 16	3
発議第5号	「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書(案)	賛成多数 17	2
発議第6号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書(案)	賛成多数 15	4
発議第7号	「手話言語法」(仮称) 制定を求める意見書(案)	賛成多数 15	4

# 常任委員会の審査から

## — 付託案件・主な質疑 —

9月12日に総務財政委員会（委員長 森 昶、副委員長 畑美津子）、16日に教育民生常任委員会（委員長 中村和晃、副委員長 渡辺友里夏）、17日に産業建設常任委員会（委員長 山際 優、副委員長 福田和義）を開会し、各委員会に付託された案件について、それぞれ審査しました。

### 総務財政常任委員会

**議案第52号** 行政財産目的外使用料条例の制定について ……（賛成全員）

行政財産の目的外使用に係る使用料を徴収するための条例制定。

### 主な質疑

議案第52号

**問** 廃校になる学校は、普通財産、行政財産のどちらになるのか。

**答** 目的が終了したものは、必要な手続きを経て、基本的には普通財産に移行する。

**問** 行政財産の目的外使用の件数は土地建物等を含めてどれくらいあるのか。また、使用期間はどのようになるのか。

**答** 現在、行政財産は、会計規則の貸し付けの規定を適用しており、目的外使用料徴収の実例はない。条例の制定により、該当するものについては使用料に移行していく。使用期間は、基本的には1年だが、業務に支障がなければ延長は可能である。

### 産業建設常任委員会

**議案第65号** 市道路線の認定について ……（賛成全員）

国道167号磯部バイパス工事に伴う市道路線の認定。

### 主な質疑

議案第65号

**問** 国道167号の一部を市道に認定しなければならぬ理由は何か。

**答** 国道バイパスが完成した後、旧道は地方公共団体に引き渡し、市町村道にすることが原則である。

国道167号磯部バイパスの整備事業は国

の方針に基づき進められ、旧道は工事着工前に協議し、市町村の認定を受けることになっている。

磯部バイパスの完成供用後、舗装・ガードレールの補修等、遠い将来にわたるまで市に維持管理費がかからないようなレベルにまできちんと県に整備をしていたら、条件が整って初めて移管を受けることになる。



国道167号バイパス整備事業計画図

# 教育民生常任委員会

- 議案第53号** 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について ……(賛成全員)  
特定教育・保育施設の運営に関する基準および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるための条例の制定。
- 議案第54号** 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について (賛成全員)  
家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定めるための条例の制定。
- 議案第55号** 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について ……(賛成全員)  
放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定めるための条例の制定。
- 議案第56号** 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正について (賛成全員)  
母子および寡婦福祉法の一部が改正されたことに伴う、関係字句を改正するための条例の一部改正。
- 議案第57号** 陶芸館の設置及び管理に関する条例の一部改正について ……(賛成全員)  
平成26年10月1日から志摩陶芸館を供用開始することに伴う条例の一部改正。
- 議案第58号** 火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正について ……(賛成全員)  
火葬場の待合室における使用料の単位を変更するための条例の一部改正。

## 主な質疑

### 議案第53号

**問** 条例を制定する理由は。また児童の認定について変更点は。

**答** 子ども・子育て新制度の実施に伴い、市においても認可や確認の基準に係る条例を新たに定める必要がある。これまでは県が施設を認可していたが、新制度では市町村が基準に従い認可することになる。児童の認定は、原則的には現状と変わりはなく、従前から入所している児童は、引き続き同じ施設で保育できる。

### 議案第57号

**問** 志摩陶芸館の規模と場所、また施設などの管理はどのようになっているのか。

**答** 志摩陶芸館の規模と場所、また施設などの管理はどのようになっているのか。場所は志摩文化会館裏手の敷地内にあり、規模は6畳2間程度のプレハブ造りである。施設等の管理は、志摩文化会館内の教育委員会志摩分室で行う予定である。

### 議案第58号

**問** 今回の条例改正は、トラブルを未然に防ぐためのものか。

**答** 現在、トラブルがあるわけではないが、火葬場には4基の炉が設置されており、1日最大で8体の火葬ができる。待合室は4室なので、使用料の単位が「1日につき」では実態に

**答** 場所は志摩文化会館

裏手の敷地内にあり、規模は6畳2間程度のプレハブ造りである。

合わせることから、「1回につき」に変更するものである。



悠久苑待合室

## 市長へ

# 辞職勧告決議案を提出

大口秀和市長が不動産を購入した行為により、市の信用を大きく失墜させたとして、大口市長に対する辞職勧告決議案が議員から提出されました。

採決の結果、賛成6、反対13で否決となりました。

## 人事

### ●人権擁護委員

人権擁護委員について諮問され、次の方を適任と決定しました。

(敬称略)

上野 芳樹(磯部町)

## 議案の審議結果一覧

	議案名	議決結果		
		賛成	反対	
報告第3号	平成25年度一般会計継続費精算報告書について	報告		
報告第4号	平成25年度水道事業会計継続費精算報告書について	報告		
報告第5号	健全化判断比率について	報告		
報告第6号	資金不足比率について（水道事業会計）	報告		
報告第7号	資金不足比率について（病院事業会計）	報告		
報告第8号	資金不足比率について（下水道事業特別会計）	報告		
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	賛成全員		
議案第52号	行政財産目的外使用料条例の制定について	賛成全員		
議案第53号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成多数	18	1
議案第54号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成多数	18	1
議案第55号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成多数	18	1
議案第56号	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	賛成全員		
議案第57号	陶芸館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第58号	火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第59号	平成26年度一般会計補正予算（第2号）について	賛成多数	16	3
議案第60号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	賛成全員		
議案第61号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	賛成多数	18	1
議案第62号	平成26年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について	賛成全員		
議案第63号	平成26年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について	賛成多数	18	1
議案第64号	平成25年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	賛成全員		
議案第65号	市道路線の認定について	賛成全員		
認定第1号	平成25年度一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	16	3
認定第2号	平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員		
認定第3号	平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	18	1
認定第4号	平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員		
認定第5号	平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員		
認定第6号	平成25年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	18	1
認定第7号	平成25年度国民健康保険病院事業会計決算認定について	賛成全員		
発議第1号	市長大口秀和君に対する辞職勧告決議案	賛成少数	6	13
発議第2号	財政健全化調査特別委員会設置に関する決議について	賛成全員		

# 市政のびらを聞け！

## 13議員が一般質問

※このうち、山際優議員の一般質問は、原稿未提出により掲載していません。



中村 達久 議員

# 市の災害対策を問う

**問** 8月9日の台風11号の接近により発令された大雨特別警報の対応の詳細を問う。

大雨特別警報が発令された時間と市災害対策本部が設置と廃止された時間は。

**市長** 三重県に大雨特別警報が発表された時間は、8月9日午後5時20分、この時点では志摩市は大雨注意報であった。志摩市に大雨特別警報が発表されたのは、午後6時01分であった。

市災害対策本部は、午後5時37分に警戒態勢配備1の災害対策本部を設置し、市に大雨特別警報が発表されたことから、午後6時05分に警戒態勢



前川鵜方水門

を配備3に引き上げた。災害対策本部廃止は、翌日の10日午後3時52分であった。

**問** 市民への周知は。

**市長** 8月9日午後5時30分、防災行政無線により台風接近に関する注意喚起の放送のほか、特別警報発表と同時に全国瞬時警報システムによる自動放送や避難所開設の周知を行った。

**問** 市内で大雨被害のおそれがある場所と、その対策は。

**市長** 市内には、土砂災害警戒区、土砂災害特別区域、急傾斜地崩壊危険箇所が813か所ある。

今回の対応は、土砂災害システムを活用しながら対策を行った。

**問** 今回の台風が通り過ぎた後、市内で災害が発生していることが判明し、市役所に通報したが、災害対策本部は廃止し、職員は帰宅した後で発見者

は大変困られたとのこと。警報解除後の体制を検討されたい。

**市長** 通常の勤務時間内であれば、対応も可能であるが休日や夜間は検討したい。

## 軽自動車救急

## 車の導入は

**問** 市内は道路が狭く、救急車両の進入が不可能な場所が多い。全国の場合を見ると、軽自動車の救急車が導入された地域が紹介されている。瀬戸内海に浮かぶ家島では、平成23年4月から軽自動車の救急車が運行されている。市でも検討され、広域消防組合へ導入を求め

る考えはないか。

**市長** 市内では、救急車が侵入できない箇所が多くあり検討の価値はあると思うが、課題もあり、広域消防組合と検討していきたい。

## 交通事故防止を問う

**問** 路面表示の一時停止線や横断歩道の表示が消

えている箇所があり、それぞれの道路管理者が総点検して整備されたい。また、ガードレールの汚れが目立つ。きれいな道路がおもてなしの第一歩ではないか。

**市長** 交通安全上の観点から市道、県道、国道の不備な箇所を点検して計画的に進めていきたい。県にも要望する。区画線やガードレールはきちんと整備されておれば見た目もよく、十分な効果があると思う。状況確認を行ったうえで、対応を考えていく。

※ その他、「公の施設の管理」について質問しました。



幼稚園を改修して再出発した児童館

# 新施設でのごみ処理がスタート

## ごみの現状を問う



小 河 光 昭  
議員

**問** 4月から8月までの可燃ごみ、資源ごみの量の現状は。

**市長** やまだエコセンターでの可燃ごみの処理量は、5ヵ月分で約6012トンであった。エコセンターでの可燃ごみ処理計画4月から8月までの5ヵ月分として、約5942トンであり、現時点で約70トン超過している状況である。資源ごみは、8種類で分別をお願いしている。分別による効果は、プラスチック製容器包装で、対前年度比12%増、雑紙が対前年度比30%の増となっている。

**問** 阿児清掃センターの稼働率、焼却実績は。

**市長** 5ヵ月間で42日の稼働により約376トンの可燃ごみを焼却処理した。

**問** 今後のごみの見通しは。

**市長** 5ヵ月分の可燃ごみ量から推定すると、予想した超過量より、かなり少なくなるものと見込んでいる。

## 波切漁港周辺の有効利用について問う



**問** 波切漁港周辺の整備事業について合併後の取組みとして、旧大王町から要望が上がっている。整備計画等の考えは。

**市長** 大王崎観光駐車場運営の中で毎週土曜日と日曜日の2日間、朝市を開催したいとの話がある。参加される事業者が増加する場合には、波切漁港周辺の移動も視野に入れ、計画実施に向け検討する。

## 市のスポーツ振興について問う

**問** 市のスポーツ都市宣言について、市長は任期の前半のうちにやりたいと答弁したが現状は。

**市長** 里海ツーリズムとスポーツツーリズムの両面から、新しい里海創生によるまちづくりを進めている中で、市民向けの



スポーツ都市宣言をもう一步進めたスポーツ観光都市宣言を早期に実現するため、関係機関とさらに協議、調整をしている。

## ふるさと納税について市の考えを問う

**問** 全国で特産品によるふるさと納税アップを図

る自治体がふえているが、市の取り組み方、考え方は。

**市長** ふるさと納税の趣旨を重んじる対応と合わせて、地域経済の活性化を図る手段として、来年度からは、ふるさと納税の返礼品として市の特産品を送りたいと考え、計画を進めている。

## 市の人口増の取り組みを問う

**問** まちづくりは人づくり、人口減を待つのではなく、本腰を入れて、人口増に取り組んでいく必要があると思うが市長の考え、取り組みは。

**市長** 人口定住対策や人口減少対策は重要であるとの認識をしている。これを抑える対策としては、特に若者の雇用の場を確保し、安心して子育てができる環境づくりが重要であると考えている。

# 市の道路状況に関して



井上 裕 允  
議員



第二伊勢道路

**問** 第二伊勢道路を経て、白木から磯部へ抜けるルートでの進捗状況は。

**市長** 未着手区間のルート選定はできるだけ早急に進め、磯部バイパス開通後、スムーズに事業着手ができるよう、準備しておきたいと考えている。

**問** 磯部からパールロードに向かう鶴方磯部バイパスの進捗状況は。

**市長** この路線の用地買収は全線完了しており、平成29年度中に工事完成、供用を目指している。

**問** 横山入り口から鶴方商業地区への道路改良計画はあるか。

**市長** 抜本的な道路改良の計画はないが、傷んだ箇所の修繕などを行い、安全に通行できる道路環境を整えていきたい。

**問** 市内にはラウンドアバウト化できる交差点はあるか。

**市長** 賢島交差点あたりが考えられる。道路管理者は志摩建設事務所なので、可能かどうかの検討を行いたい。



鶴方磯部バイパス

## ごみ焼却に関して

**問** 不法投棄が結構あると思うが現状は。

**生活環境部長** 本年度4月以降、不法投棄の現場を確認した回数は14回である。不法投棄した者は、投棄した廃棄物の撤去を求められるだけではなく、5年以下の懲役または1000万円以下の罰金を課せられ、法人の場合は3億円まで過重される



やまだエコセンター前道路

となつている。今後、環境監視員の指導強化など含め、少しでも不法投棄がなくなるよう対策を講じたい。

**問** やまだエコセンターへ行く道で、車が対向できない場所の改良工事の見込みは。

**生活環境部長** やまだエコセンター前の道路改良

計画は、志摩建設事務所が進めており、今年度中に用地測量に取りかかる予定である。

的矢地区から、やまだエコセンター方面へ至る県道の未改良部分は、やまだエコセンター前の道路改良事業の完了時点で計画していく。

# 「第2次財政健全化アクションプログラム」 の基本的な考え方・ポイントを問う



森 昶  
議員



「出るを制す」ために、健全経営が望まれる市立病院

**問** 市の「財政収支見通し」によると、何の対策もしなければ、平成30年には財政調整基金は底をつき、平成33年には単年度で20億の財源不足、平成36年には累積赤字が104億円になるという厳しい予測である。この危機的な状況を回避するための行財政改革実施計画と第2次財政健全化アクションプログラム(案)の基本的な考え方・ポイントを伺う。さらに目標効果額、確実性、進捗の検証結果の公表、重要施策、新規事業への取り組み等への考え方を問う。

**市長** 平成33年度の歳入不足約20億円の回避の対応は、10年間の長期計画で、緩やかに改革を行う「長期健全化目標」を掲げた。市民サービスについては、行政機能や財政規模に応じた視点から事務事業を展開して、市民生活や市の活力に深刻な影響は避けるように取り組む。

10年間の最終年度での目標効果額設定は、20億7000万円で、財政調整基金等が枯渇せず、目標最終年度には、基金積み立てが出来る内容での目標効果額設定である。

**企画部長** 関係団体など  
実施計画は、全各部署で計画した確実性のある実施計画個票を行政改革推進本部で取りまとめ、検討を行い決定し、実施の進捗状況はホームページで公表する。

重要施策には財源確保に努めるなど、より効果的な事業に投資することで、市の活力を推進していきたい。

**問** 難易度の高い行政改革取り組み項目とホームページで公表する時期と公表内容を問う。



「入るを計る」ために、更なる活性化が望まれる観光産業

**問** 市の観光の羅針盤である志摩市観光振興計画  
との調整が必要な項目は、難易度が高いが、全てにおいて容易なものはない。個別個票として1枚の様式にまとめて、公表時期は決算認定の9月頃を目途に検討している。そして、毎年度検証、見直しを行っていく。

**「志摩市観光振興計画」策定の進捗状況は**

**市長** 予定どおり宿泊者ニーズの把握を終え、今後は、観光資源に関するアンケート調査を行う。観光計画策定は、観光マーカーケティングの分析を踏まえて、策定委員会に取りまとめる予定である。

**問** 観光振興プランの中間報告と課題点を問う。

**商工観光部長** 概略がまとまったら中間報告をする。核となる観光協会の建て直しが課題で、指導を含めて、体制の強化を図っていく。

**「人口減対策」への対応は**

**問** 財政状況が厳しい一番の要因は、人口減、特に若者の流出である。対応への所見を問う。

**市長** 重要課題と認識しており、里海施策を通して市を全国にPR発信し、移住、定住していただけるまちづくりを目指す。

# 市における子どもの貧困対策

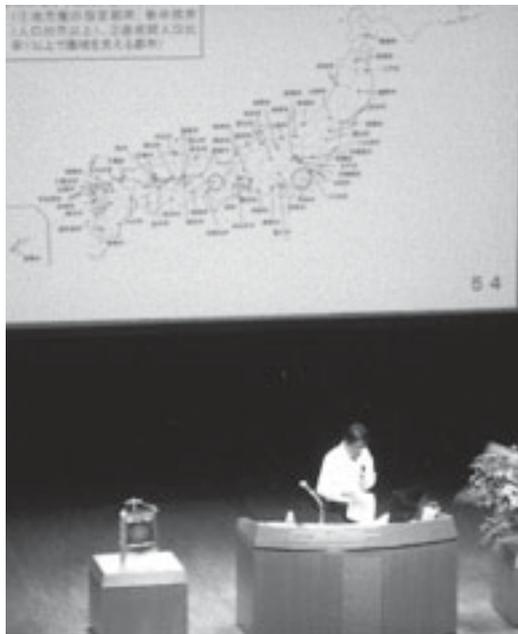


上村 繁子  
議員

**問** 市での子どもの貧困の現状について、学校の先生方はどこまで把握しているのか。また、市の教育委員会では、このことについてどのような対策をされているのか。

子どもは、日本社会の次世代を担う人たちである。生きる力を育み、地域の宝であり、子どもたちが親の所得によって、可能性の芽を摘んでしまわないように、地域でサポートしていかなくてはならないと思うが所見を聞こう。

**教育長** 教育委員会として、保護者の所得調査や支出調査など実施していないので、詳しい状況や個々の状況は把握していない。しかし、就学援助制度の利用から、市内の概要は推測できるのではと考えている。ここ数年は、全体の児童生徒数のうちのおよそ15%程度は家庭が、生活が厳しい状況にあるのではないかと考える。これは2012年に厚生労働省が発表し



「人口減少時代と地方議会」研修

たデータと近い割合を示している。

学校での状況把握については、就学援助制度を利用しては、また、生活保護を受けている家庭について、おおよそ、その状況は把握できている。

また、月々の集金の回収状況や日々の家庭訪問等から各家庭の経済的な状況を推測し、個々の家庭条件に合わせて対応を取っている。

教育委員会の支援策では、教育基本法、学校教育法の法律を受け、就学援助制度、奨学金制度、専用通学バスを貸し切り、

保護者の経済的負担の軽減をしている。これらの事業の実施の際や実施後は、教育委員会で議論や討論をしている。その際、子どもの貧困や保護者の経済状況についても議論をしている。

**問** 市における定住人口増加に向けた取り組みは、

**市長** 日本創生会議人口減少問題検討分科会が発表した将来人口推計の市の人口は、2010年が5万4694人であったが、2040年には

## 人口減対策

2万9780人と約54.5%まで減少すると見込んでいる。日本の人口全体が減少している中で、多くの自治体が苦慮しているところである。

市においては、まず定住促進に向けた地域づくりが重要であり、これまで実施してきた里海施策では、水産振興への財源確保や地域の産品を生かした六次産業化など、里海施策以外の対策として



定住人口増加についての研修(加西市)

は、子育て環境の充実などを図っていく必要があると考える。また、新たにふるさと納税を地域経済活性化の一つの手段として活用し、稼げる里海を実感できるよう努力をしていきたいと考えている。

※ その他、「ふるさと納税」について市の状況を質問しました。

# 篤志家から市に寄附された土地と 寄附金を問う



西崎 甚吾  
議員

**問** 寄附していただいた神明地区内の約8500坪の広大な土地について、ご厚意をどのように捉えてどう生かすべきか、また、東側約4000坪には、しま里山公園を計画したが、整備の見通しは、

**市長** 市内出身の篤志家から、社会福祉に活用してほしいとの申し出があり、平成21年度に寄附および一部売買により取得させていただいた。西側には、平成26年4月から幼保一体化施設が運営されている。市を愛し、ふるさとの発展を願って行政に有効活用を期したものと捉えている。新たな事業として公園整備計画は、非常に厳しい状況にあるが、住民に潤いを与える緑地里山として、今後十分な検討を重ねていく。

**問** 篤志家から土地約8500坪の寄附と、その篤志家の姉から8000万円以上の寄附金をいただいている。一般寄附金として処理された理由と

市民に深く伝わっていく形での顕彰を図って行きたいとしているが、どのような顕彰を実施すればいいと考えるのか。

**市長** 受領した経緯は、被相続人の遺言執行人である弁護士との確認により、一般寄附として収入



国道167号線 寄附された土地付近

した。顕彰については将来、公園の整備を進めていく中で、碑を建立するとか、公園名に名前を冠するなどがあるが、どのような形になっても、ご意志が市民に深く伝わるようにしなければならぬと考えている。

## 財政健全化の継続 と進展を図る取 組みを問う

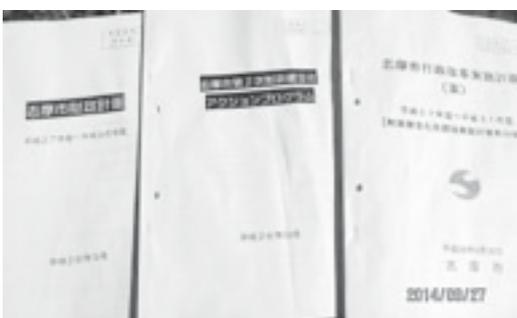
**問** 第2次財政健全化アクションプログラムの中で、どの取り組みを優先し実施していくのか。また、財政規模に応じた行政機能が最も重要だが、組織機構改革に27年度からどのように取り組むのか。

**市長** 取り組みが可能な事業を3年以内、5年以内、10年以内に仕分けと選定を行い、速やかに取り組むことが最も効果的だと考えている。平成26年度中に第2次定員適正化計画を策定し、平成27年度からスタートするので、平成27年度中に組織機構の見直しを行い、平成28年度当初に実施したいと考えている。

**問** 全ての施設の管理運営について、外部委託を積極的に検討し、直営を見直して民間へ移行すべ

きと考える。また、行政改革推進本部で、進捗状況について把握・検証するとあるが、内部評価と並行して、有効な外部審査や外部評価を実施する考えは。

**市長** 施設の管理委託の推進は、市民にとって効率化・効果的なサービスの提供が可能で、費用対効果が上がるのであれば積極的に進めていく。内部評価として、実施計画の個表を取りまとめて進捗管理を行い、外部評価は行政改革推進委員会から意見をいただくことを検討している。



# 里海について



竹内千尋  
議員

**問** 稼げる里海とはどういうことか。また、里海を目指すゴールは。漁業振興との関連性、観光との関連、教育との関連はどうか。

**市長** 海域と海域に影響を与える陸域を一体の沿岸域ととらえ、市民や関係者が一丸となって、自然の恵みの利用と保全を効率よく進める沿岸域の総合的管理の手法を全国で初めて取り入れ、農林水産物や地域の文化、住環境など、市ならではの自然の恵みを保全しながら市そのものをブランド化し、確立することが最終的な目的とするもの。英虞湾観測事業や、自動観測ブイ管理事業等を通して、英虞湾、的矢湾漁場環境の保全を行っている。観光と連携した取り組みを方向性として、観光資源の魅力をより高め、自然環境のすばらしさや、自然環境に根差した産業について学び、体験できる里海ツーリズムを推進している。

**教育長** 自然の持っている機能の保全と自然を利用するために必要な取り組みなどの理解を深め、地域の産業後継者や環境保全に携わる人々と連携した学習や市の特産物である真珠、アオサ、カキ養殖等の水産物の学習を計画する。学べる里海推進事業を行っている。



**問** 里海を進めていく上において、具体的な成果目標、数値目標をやはり入れていくべき。人口が減少する中、具体的に現状を認識した上で、どういった手だてで取り組んできたのか、あるいは取り組んでいこうとしているのか。

内閣府が農山漁村への

都市部の皆さんの定住願望を調査すると、32%があると答えており、前回2005年度の調査から11ポイント上がっている。人口流出や人口減少について、市は、海の環境も生かしながら、どういった打ち手を持って、人口減少に備えていくのか、漁師塾等への支援は。

**市長** 漁師塾をしつかりと応援していきたいと思っている。



## 真珠養殖の世界遺産登録について

**問** 真珠養殖の世界遺産登録に向けた動きを地域として、関係団体と協議をしながら進めていくということが、地域の未来を考えていく、あるいは将来を考える上で大事なことだ。大きな目標であるが、世界遺産登録についていかが思うか。

**市長** 教育委員会ともども世界遺産が登録できるものならば、頑張りたいと思っている。

# 雇用創出人材育成事業の失敗 何を教訓とするか



坂口 洋  
議員

**問** 市は昨年4月、コーポレーション業務などを行うDIOジャパンと雇用創出人材育成事業の業務委託契約を結んだ。しかし、このDIOジャパンという会社は、このような事業を全国的に展開しながら、1年間の人材育成事業の終了と同時に、大勢の従業員を雇いどめ、事業所を閉鎖した。市長は、この失敗について、どう責任を感じているか。何を教訓としたのか。

**市長** 補助事業終了後の平成26年4月以降も継続雇用し、最終的には50名規模にまで拡大するということで期待していたが、最終的には、雇用者は4名となり、7月末日で雇いどめという大変残念な結果となった。雇用者の方々の期待を裏切ったことに対して、大変申し訳なく思っている。今後このような事案が起こらないよう努めていく。

**問** 企業誘致で慎重さが求められるという教訓と、もう一方で地元業者の応援、育成を優先し、雇用を増やすことも教訓化してほしいが、見解を問う。

**商工観光部長** 議員の言うことはもともとである。今後、プロポーザルにおいても、その企業の情報収集を含め、もっと慎重にしていかなければならないと思う。

**市長** 今回の教訓を生かし、議員の言うように、市内業者の育成ということに力点を置き、対応する。



委託契約時の市長とDIOジャパン役員

## 子ども・子育て支援新制度の課題は整理されたか

**問** 来年度から、子ども・子育て支援新制度の実施が予定されている。課題は整理され、準備は進んでいるか。

**市長** 新制度では教育・保育利用する子どもについて、三つの認定区が設

けられた。これによると、3歳児から教育を受けることができるが、現在市においては、3歳児の幼稚園利用のニーズにこたえられない。今後慎重に検討する。募集に関しては、詳細が決まったら速やかに周知する。子ども・子育て支援事業計画を策定し、それに基づき、施設やサービスを整備、実施する。

**問** 安心子ども基金による保育士等の処遇改善について、国からの支出で行われるもので、保育士以外にも非正規職員も対象となるものだから、正規・非正規の格差が広がる実施のされ方であってはならないと指摘したが、今年度の実施に向け、市はどう対応するのか。

**市長** 運用に当たって、非正規職員を含めた全職員に十分説明し、理解を得て実施するよう指導し、今後は全職員対象に、幅広く運用する旨をお願いした。





大西美幸  
議員

# 安乗・東海中学校の再編はどうなる

**問** 教育委員会で大きな壁となっている安乗・東海中学校の再編について、両地区の保護者間には、まだ大きな温度差があるように受け止めるが、果たしてこの現状で平成27年春までに再編は間に合うのか。

また、校名について、志摩中学校や大王中学校が旧町名を絡めた新校名にしたように、なぜ安乗中学校と東海中学校もその考えでいかなかったのか。

**市長** まず、両校の再編が計画どおりに進んでいないことを、両地区の保護者の皆様、地域の皆様に心からお詫びする。

再編後の学校名に対する両地区の思いに大きなずれがあり、冷却期間を置いたため3月に一旦、見送った。その後、学校名について、私も『阿見東中学校』と考えていたが、次回の懇談会に備え、旧阿見町史を読み、東海中学校と決定した歴史的経緯を知り、この事実を重視し、懇談会において



「校名は東海中学校で、校歌と校章は新しく」と提案したが、一部の方々から異論があり、結論には至らなかった。

**教育長** 両校の再編については、幾度となく協議を重ねてきたが、溝は埋まらず、一旦は見送った。次年度からの再編を実現させるため、改めて開催した両地区合同の保護者

懇談会においても話がまとまらず、このままでは平成27年度春からの再編も見送らざるを得ない。

**問** 教育長は、この現状を招いた責任をどう受け止めているのか。

**教育長** 今回の再編は、現時点で計画どおり進んでいないことについて、まさに私に責任があることを重々認識している。

## 行政の本気度は

**問** この先、現状の市政運営では、やがて財源不足に直面すると懸念されるが、前回の財政健全化計画から5年が経ち、本年は中間点の見直しということだが、削減、節減の目標値はどれぐらい達成できているのか。

**市長** 平成22年度から平成25年度までの数値は、目標の約7億6000万円に対し、4億7000万円、約62%の達成率であり、全体的に財政削減効果は予定していた数値まで至っていないが、学校や保育所の統廃合、



鵜方公民館の男女兼用トイレ

連絡所の廃止、地方税の徴収率の向上など実施している。

**問** 更なる経費節減とメリハリのある事業展開が求められる中、鵜方公民館のトイレがまだ男女兼用だが、今後の改修計画は。また、野田幹線道路工事での通学路の歩道計画は。

**教育部長** トイレは、鵜方地区からの強い要望もあり、改修工事のための実施計画業務の委託料を9月補正に計上している。**建設部長** 野田幹線は道路の幅員制約があり、今回はフラットのグリーン帯を予定している。

# 自治会の要望に対する市の対応は



野名澄代  
議員

**問** 木が生え、泥で埋まっている側溝の対応は。

**市長** 即でできることは職員が対応し、小規模の工事は業者に依頼している。予算を伴うものは次年度予算で対応していきたい。

**問** 平成20年度から甲子橋の耐震調査を自治会が要望しているが、回答は昨年度と同じであった。これまでの経過説明を。

**副市長** 経過がわかり次第、回答する。

**問** 幼保園の道路が行き止まりとなっているため、自治会が非常時に通り抜ける道路を要望している。市の見解は。

**市長** 避難路整備は、自治会と協議しながら進めていく。



**問** 磯部町の頂門寺橋の安全性の調査は。甲子橋と同様、重要な橋であることを認識し、早急な整備を。

**市長** 頂門寺橋の上部工を支える橋脚部の劣化が激しく修繕は不可能で、架け替えを視野に入れて検討すべきとのことである。その場合、費用は多額になるため、他の修繕事例を調査しながら、工



頂門寺橋

法について検討協議を行っている。甲子橋については、しっかり対応していきたい。

## 観光協会の不祥事と調査結果を問う

**問** 観光協会が危機的な状態にあると思われる事

件の概要と調査結果は。  
**商工観光部長** 調査の結果、関係諸帳簿の現金簿には記載漏れが多数あり、売上げ現金・仕入れ・通帳の突合ができない。過去6年間の調査結果では894万7877円が不明となっているが、伝票諸帳簿が一部焼却されているため、収入支出の突合もできない。市は施設の私物化も含め、現金の流れを明確にするよう指導している。

**問** 使途不明金の原因は、担当職員のミスか、私的流用か。

**商工観光部市長** 海女小屋体験施設が私物化されていたという状況が多々見受けられる。

**問** 市は補助金が適正に使われているかチェックすべきである。市長はその役割を果たしたのか。

**市長** 私も報告書の中にいくつか疑問を感じ、認印を押さなかったこともある。ただ、観光協会は市にとって重要な組織ということである。今回で

すっかり見るこの必要性がわかった。

**問** 市長が「おかしい」と思った時に、なぜ調査をしなかったか。

**市長** 相手が市づくりの盟友であるため、多少の記載の間違いは許容範囲かと思っていた。私の不徳のいたすところである。

**問** 補助金を返還させた事業の内容は。

**商工観光部長** 実績報告書の中に架空の未払い金の計上や補助対象外経費の計上があったため、返還してもらった。

**問** 観光客誘致に使う金を通帳にプールしたということは観光協会は本来の仕事をしていなかったことだ。この不祥事をふまえて、観光協会が本来の役割を果たす指導および資料のチェックが必要である。今後の対応策は。

**市長** しっかり監視し、応援していきたい。



谷口 覚 議員

# 人口減・少子化に歯止めをかけるには



**問** 具体的にどのような歯止めをかけ、人口増につなげることができるのか。

**市長** 平成27年度からは子ども・子育て支援法に基づく子ども子育て支援事業計画を策定し、支援策を進めていく。

**問** 出生率全国平均1.43だが、市の出生率は。

**市長** 1.40で、県下では21番目である。

**問** 第3子育て対策事業は、現在どのようなことをしているのか。

**健康福祉長** 現在は保育所の保育料において、兄弟姉妹が幼稚園、保育所障がい等の施設へ入所している場合、2人目は2分の1、3人目は無料にしている。

## 子どもたちの学力向上につなげるには

**問** 教室へのエアコン設置計画はあるのか。

**教育長** 保健室やパソコン教室等の特別教室を優先的に進めていく。普通教室への計画はない。

**問** 土曜授業実施については。

**教育長** 平成26年度は試行期間として、2学期以降、学期に1回実施する。学力テストの成績は。



**市長** 数値的な公表はしないことにしている。

**問** じめ防止基本方針はできているのか。

**市長** 本年7月末までに策定していく。

## 公共施設の老朽化にどう対応するのか

**問** 修繕や建て替えに要する経費が大きな財政負担にならないのか、今後の対策は。

**市長** 現在、老朽化施設の除去を始め、公共施設の総合管理計画の策定に向けて準備を進めている。

## 文科科学省が立ち上げた『未来につながる廃校プロジェクト』の活用は

**問** このプロジェクトの概要は。

**市長** 地方公共団体において、活用方法や利用者を募集している未活用の廃校施設等の情報について、文科科学省のホームページで全国の廃校施設等の情報を掲載することで、全国の活用希望者に情報提供するものである。今後は、このプロジェクトの活用も含め、協議検討を行っていきたい。

## 市営住宅等の管理運営について

**問** 財政健全化を図るために、市営住宅等について、指定管理者制度導入の考えは。

**市長** 先進都市の実施状況の研究等も含め、より有効性を検討していく必要があると考える。

# 市の課題は そして課題克服に向けて



金子研世  
議員

**問** 現在、市の各部署における最大の課題は何と認識しているか。

**市長** 総務部は防災・減災対策、健康福祉部は少子高齢化問題、農林水産部は農水商工連携、商工観光部は主要産業の活性化、建設部は豪雨や災害への対応、上下水道部は基幹管路や重要施設等の耐震化であると考えている。

**問** 課題克服に向けて、どのようなプロセス、手法を考えているか。

**市長** 防災・減災対策は行政と市民が同じ方向を向き、それぞれの役割を認識すること。少子高齢化問題は誰もが安心して楽しみながら子育てができるまちづくり。農水商工連携は関係団体や農業者、漁業者の取り組みの方向性を揃え、主体的な取り組みを促す。主要産業の活性化は関係団体と連携し、企画運営から情報発信を行い、受け入れをするための包括的窓口体制の構築。豪雨や災害



磯部橋

への対応は危険箇所について市民に周知徹底すること。基幹管路や重要施設等の耐震化は国庫補助事業等による施設整備の計画、優先度による毎年度の更新整備を進めていく。

**問** 課題克服の達成度を誰しもがわかるように数値化することに対し、市長の考えは。

**市長** おもしろいと思いますが、どの部分が数値化・目標化できるのか、それについては一度検討し

ながら、本当に市民にわかりやすい政治ができるか、考えてみたいと思う。

## 全国学力テストの結果をうけて！

**問** 全国学力テストの結果が公表され、三重県における正答率での比較は小学校が47番、中学校が37番でした。この結果をうけて、教育長の考えは。

**教育長** 今回の結果を分析し、今後の指導に生かしたい。

**問** 学力向上に向けて、県教育委員会とはどのように連携を図っていくつもりか。

**教育長** 連携の強化を今後も可能な限り、図っていきたい。

**問** さらなる学力向上に向けて、独自に取り組む考えは持っているか。

**教育長** 今のところは新たな取り組みを展開するのではなく、今やっている取り組みを見直し、改善していくことが大切だと考えている。

**問** 市の学力向上の一端として、日本全図を市内

各小中学校の各教室に掲示する考えは。

**教育長** 日本全図を掲示することによって、学力が向上できるかどうかということについての分析は、まだ内部でもしていない。

**問** 日本全図を掲示することによって、お互いに教えあい、日本全図を指し示して理解することが学力向上に繋がると考えるが、教育長の考えは。

**教育長** その学習年齢に達した子どもたちに対しては良いと思う。例えば、中学生については非常に意義があると思う。



日本全図

# しましは志摩じとてん

阿児町甲賀 橋野俊輔さん



プロフィール  
年間70本を超えるライブをこなすミュージシャン。大阪生まれの大阪育ち。サーフボードに没頭して18年前、志摩市に移住。海好きが高じて現在は漁師でもある。海に携わる365日。

志摩市でびかつひかる人を紹介させていただきま  
す。

●志摩市の印象はいかがですか？

人が温かいという、イメージが一番ですね。大阪にいたるときは魚が嫌いでしたが、志摩に来て好きになりました。

●最近、気になることはありますか？

音楽を通じた、肩の力を抜いた楽しいイベントがもっとたくさんあるといいですね。音遊びをするのを気楽に見に来て、リラックスできる感じですね。志摩市の使っていない施設を開放してもらえたらと思います。

●志摩市でお勧めスポット(景色等)があれば教えてください。

沖で見る日の出です。遮るものがない、水平線から昇る日の出は、言葉では言い表せません。

●今後の志摩市について伺いたいと思います。

市と協働で野外フェスをやりたいですね。各地からミュージシャンを呼んで、面白い場所ですつながらりたいですね。音楽でみんなが笑顔になる！最高です。

## 議会のうづき

7月

29日 全員協議会  
議員総会

16日

17日 産業建設常任委員会  
18・19・22日 予算決算特別委員会

8月

5日 議会改革特別委員会  
議会運営委員会  
12日 議員総会

25日

徳島県松茂町議会視察来市

12日

20日 香川県三豊市議会視察来庁

30日

議会運営委員会

21日

議員総会

10月

議会広報研修

25日

産業建設常任委員会協議会

2日

産業建設常任委員会協議会

28日

議会運営委員会

9日

議員研修会

9月

2〜30日 第3回定例会

17日

議会広報特別委員会  
会派代表者会議

12日

総務財政常任委員会

23日

議員総会

### 次回定例会の予定

《開催日時》

平成26年

11月28日〜12月19日

《開催場所》

本庁 6階 議場・委員会室

※審議内容により変更する場合があります。

### 編集後記

平成25年度は市発足後、最大の決算額となりました。この決算認定によって作られたものや事業を大切に、未来につなげていかなければと、改めて身が引き締まる思いです。

これまで広報委員会では、委員会や広報研修等を通して、わかりやすく正確にお伝えするために、誌面等の内容を工夫してきました。今後も努力を重ね、市民目線で、議会の中身が伝わりやすい議会だよりを目指していきます。

中村 和晃

#### 議会広報特別委員会

- 委員長 坂口 洋
- 副委員長 中村 達久
- 委員 渡辺友里夏
- 委員 上村 秀行
- 委員 中村 和晃
- 委員 野名 澄代
- 委員 西崎 甚吾

